

## 公益社団法人日本口腔インプラント学会は 第52回学術大会において以下を宣言します

公益社団法人日本口腔インプラント学会 理事長 細川隆司  
第52回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 大会長 村上 弘

### 国民から信頼される口腔インプラント治療で健康寿命の延伸に寄与します

#### 名古屋宣言 2022

日本は世界の主要先進国の中で高齢化率が突出しており、健康寿命の延伸が重要な課題とされています。2022年4月に日本医学会連合は、本学会が所属する日本歯科医学会と共に『フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言』を発出しました。

多くの人は高齢になるに従って、移動することが不自由になり(ロコモの状態)、特定の病気によらない体力の衰えが増え(フレイルの状態)、様々な病気の進行と相まって徐々に生活機能が低下して一人では身の回りのことをするのが不自由になっていきます(要介護の状態)。要介護で寝たきりになると、介護者が必要となり、さまざまな社会的な負担も増えるため、いかにフレイルを予防するかが問われています。

フレイルの入り口と言われ、早期介入の鍵を握るのがオーラルフレイル(口の機能低下)です。最近の研究結果から、「噛む力を維持することが、フレイル発症を抑制できる」というエビデンスが徐々に得られてきています。健康を維持する上で、口の中で機能している歯の数は極めて重要な指標ですが、様々な理由で歯を失っても口腔インプラント治療で機能を補うことによって、フレイルの予防、健康寿命の延伸につながります。

日本口腔インプラント学会は、日本歯科専門医機構により認証される新しい専門医制度を早急に導入することによって、国民から信頼される口腔インプラント治療の普及を図り、口腔機能の維持・向上を通じて国民の健康寿命の延伸に寄与することをここに宣言いたします。